

オンコマインDx Target Test マルチ CDxシステムにおけるバーコード (バーコード配列) の機能

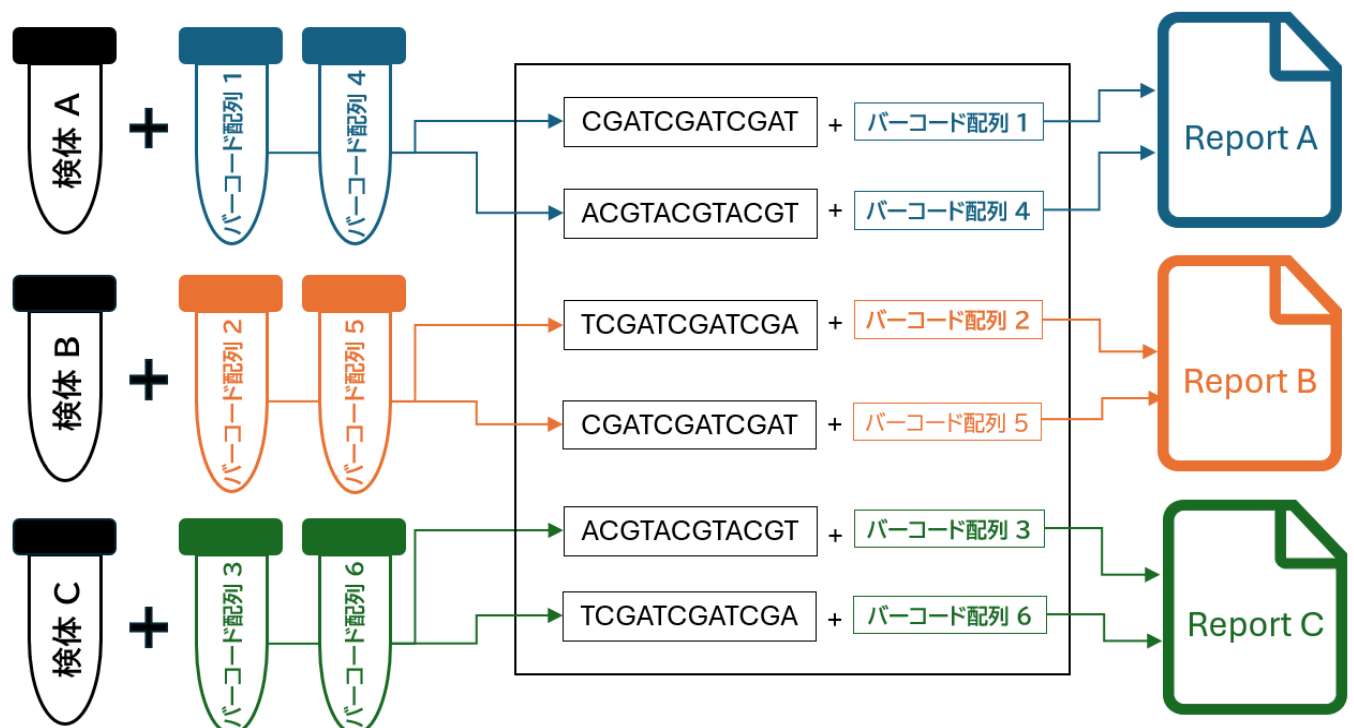
オンコマインDx Target Test マルチ CDxシステムは、次世代シーケンサーを用いたコンパニオン診断システムで、検体の塩基配列情報を取得し、特定の遺伝子変異等の有無を検出します。

複数の検体を混合して塩基配列情報を取得しますが、各サンプルに固有のバーコード配列を付加しておくことで、個々のサンプルの区別が可能となります。

各検体にはDNAサンプルとRNAサンプル用に、2つのバーコード配列を使用します。

以下に、バーコード配列機能のイメージをお示します。

バーコード配列の機能



1つの検体毎に、2つの
バーコード配列を使用
(DNAとRNA)

複数の検体が混合され、サンプル固有のバーコード配列と共に、塩基配列情報が取得される

バーコード配列を利用した検体毎のレポート